

新市立病院 建設工事に関する 調査・議案審議結果

新市立病院駐車場棟については、建設予定地に雨水渠が埋設されていたことにより完成時期が延期になりました。これに伴い、関係する議案が11月定例会に提出されました。

また、議案審議に先立ち、雨水渠損傷に係る事故の原因やその後の経過について調査を行うため、関係する教育厚生委員会と建設水道委員会による連合審査会を開催し、所管事務調査を行いました。

連合審査会

調査の結果、次のことが判明しました。

- ・市が伝えるべき情報を施工業者に提示していなかったことに端を発していること
- ・下水道台帳における雨水渠の位置の誤りは、市の検査が不十分であったことが原因であること
- ・1本目の杭工事後、施工業者は病院機構に報告しているが、病院機構は工事の中止や調査などの指示を行っていないかったこと
- ・1本目の杭工事後、建築部は病院機構から報告を受けていたが、有効な意見や指示を出すことなく、関係部局との連絡相談を行っていないかったこと
- ・調査により雨水渠であることを確認したのは、市



▲連合審査会の開催は、昭和49年以来、41年ぶり。(現地調査は除く。)

- ではなく施工業者であること
- ・現在行っている復旧工事は、市からの依頼があったわけではないが、市からの相談があり、施工業者が自主的に着手していること
- ・費用負担割合を1対1とすることについては、あくまでも市の見解であり、施工業者との合意形成はなされていないこと

教育厚生委員会

第210号議案 地方独立行政法人長崎市立病院機構中期計画の変更の認可について

◎ 議案概要

駐車場棟の設計変更及び工期の延長に伴う中期計画の変更の認可に関して議会の議決を経ようとするもの

◎ 審議結果

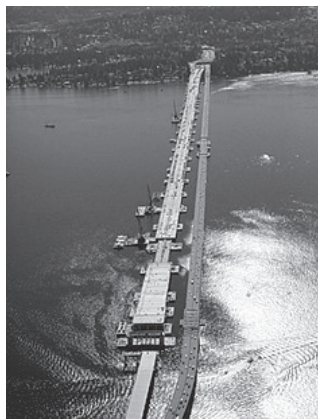
雨水渠損傷について、全ての原因や責任の所在が明らかになっていないことから、現段階で本議案についての議論はできないとの反対意見が出され、賛成なく否決すべきものと決定しました。



▲長崎独特のまちなみ

たい。
るなど、平成28年度中の策定を目指したい。
学識経験者などによる委員会を開催する
庁内での協議を進めている。今後は、まちづくり的な視点が重要であるため、平内での協議を進めている。今後は、学識経験者などによる委員会を開催するなど、平成28年度中の策定を目指したい。

問 地域固有の歴史及び伝統を反映した人々の活動と、地域を守るために、歴史的風致維持向上計画の認定を受け、国の支援を受ける必要があると考えるが、市としての考えを伺いたい。
答 長崎の国際性豊かな歴史や文化を活かし、個性あふれる魅力的なまちづくりを推進するため、現在、歴史的風致維持向上計画の策定を行っている。計画の策定にあたっては、関係省庁の指導等を受けながら作業を進めており、また、文化的な内容とともに、まちづくり的な視点が重要であるため、平内での協議を進めている。今後は、学識経験者などによる委員会を開催するなど、平成28年度中の策定を目指したい。



▲シアトルで工事中の浮橋

研究会において調査研究が行われている。長崎市としては大村市からその情報を提供を受けながら、浮橋架橋の理解を深め、課題等の整理を行う必要がある。まずは、経済波及効果等の調査を行いたい。

問 浮橋架橋は、琴海地区や外海地区を含めた西彼杉半島全体が発展するための起爆剤として、また、産業・農林漁業・観光・人口減少対策として有効であると考えるが、見解を伺いたい。
答 浮橋架橋は、琴海・外海地区を初め、市や県にとっても、観光や産業等の活性化につながる夢のある構想である。しかし、ルートや工法、整備費用や整備効果の検証など、多くの課題があるため、平成26年7月に大村市で設立された大村湾フローティングブリッジ研究会において調査研究が行われている。

歴史的風致維持向上計画

明政クラブ

11月定例会の一般質問

大村湾横断浮橋架橋への取り組み